

科目No.	552	科目名	コミュニケーション学事例研究2	サブネーム	サイエンストーク
連携機関名		レベル	基礎～中級	講義枠	下記参照
講義時間	10:00～11:30、11:50～13:20				
科目概要	対話のプロセスを通じ、科学的な枠組みの中での議論の仕方を涵養する。著名な講師陣に接して、個性豊かな講義を聴き、対話できるまたない機会である。知的刺激を受けること必定。				

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	1	どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	微生物とその宿主としての人、或いは、社会との関係を考察する。内容としては、地球上の生物、その中の微生物の役割、微生物生態、生物の形、多様性と進化、遺伝子の水平伝達、ゲノム情報、生物の基本的なプロセス、ウイルス、生物の相互作用、感染症、感染症の広がり方、生体防御の仕組み、リスクと云うものの考え方、組み換え食品、バイオテクノロジーの進展、環境問題、社会の科学への不信、科学と法や規制との関係等、結果として幅広いテーマを扱って来ている。講師による解説と受講者からの質疑応答をほぼ半々の時間配分とし、受講者の質問を中心とした講義を行う。受講者には、この講義の為に作製した講義原稿と質疑応答集が配布される。なお、ウイルス学会ホームページにある東京大学医学部微生物学講義録( <a href="http://virus.bcasj.or.jp/microbiology_top.htm">http://virus.bcasj.or.jp/microbiology_top.htm</a> )を参考文献として使用する。講義を通して、聴講者が、講師と一緒に、生物、自然、人、社会に関わる疑問を見つけて行くことが目的である。	10月6日	共通講義棟 1号館 101	吉倉 廣	国立感染症研究所 (名誉所員)
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	7	どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	・環境倫理 ・水の量 など	10月27日 10:00～	人間文化 402	北野 大	明治大学
	8			10月27日 11:50～			
	9			10月27日 14:00～			
どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	10	どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	・ダーウインの学説とその影響 ・ゲノム ・ポストポストゲノム ・毒素 ・生体防御 ・総合討論	11月17日	共通講義棟 1号館 101	松本 勲武	お茶の水女子大学
	11						
どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	12	どの様なテーマで対話型講義を展開するか、当日、明らかとなります。ご期待ください。	ウイルスは、人の身体にどこからどのように侵入し細胞に入り次々と組織を破壊して 症状を出し 結果として人を死にいたらしめるか あるいは終生にわたり 人の身体の中で 住み着いて折々に起きだして おもわぬときに病気をおこすか について 身近なウイルスについて 知ってもらうことが目的である。	11月24日	共通講義棟 1号館 101	倉田 毅	富山県衛生研究所 所長
	13						
	14						
	15						

注:2007/2/9 講義No.12～15追加。2007/9/14教室の決定。2007/10/19教室の一部変更。